

令和8年5月15日

保護者の皆さまへ

犬山市立城東小学校

校長 有馬 昌宏

## 水痘（水疱瘡）の発生に伴う注意とお願い

新緑の候 保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、本校5年生において、水痘（水疱瘡）の数名の発症が確認されました。水痘は感染力が非常に強い感染症ですので、今後校内での流行が懸念されます。

つきましては、ご家庭におかれましても下記の点にご留意いただき、お子様の健康管理にご協力いただけますようお願い申し上げます。

### 1. 水痘（水疱瘡）の主な症状

- 発 疹： 赤いぶつぶつ（紅斑）から始まり、数時間で水ぶくれ（水疱）になります。その後、かさぶた（痂皮）へと変化します。
- かゆみ： 強いかゆみを伴うことが多く、ひっかいて跡が残ったり、細菌感染を起こしたりすることがあります。
- 発 熱： 発疹が出る前後、または同時に 38 度前後の発熱が見られることがあります（無熱の場合もあります）。

### 2. 登校の基準について

水痘は学校保健安全法により「第二種伝染病」に指定され、感染症者は出席停止になります。

停止期間： すべてのかさぶたが黒く乾燥する（痂皮化する）までは、登校ができません。

再開にあたっては、医師による判断が必要となります。なお、治癒証明書、登校許可証等の提出は必要ありません。

### 3. 留意事項

- 毎朝の検温と視診： 登校前に、お子様の体温や皮膚の状態（お腹や背中、顔など）をよく観察してください。
- 早めの受診： 疑わしい症状が見られた場合は、無理に登校させず、速やかに医療機関を受診してください。受診の際は、事前に電話で「水疱瘡の疑いがある」旨を伝えるとスムーズです。
- 報告のお願い： 医師により水痘と診断された場合は、速やかに学校までご連絡ください。

※ 潜伏期間 ウイルスが体に入ってから発症するまでは、約2週間（10日～21日の間）の長い潜伏期間があります。

※ 現在は定期接種（2回）となっているため、重症化するケースは減っていますが、接種済みでも発症することがあります。「虫刺されかな？」と思っても、念のため広がりがないかご確認ください。